

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要(変更)

計画主体名	計画期間
いずもし	
出雲市	平成24年度～平成29年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業観光部 農業振興課	0853-21-6557	0853-21-6998	nougyou-shinkou@city.izumo.shimane.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
地域産物(ぶどう)の販売量の増加	-19.87% -19.92%	計画区域において生産された農林水産物[ぶどう]の販売量の増加(%) = (計画期間[H24~H29]の地域産の農林水産物[ぶどう]の販売量[9,309t 9,304t](目標) ÷ 計画期間前[H18~H23]の地域産の農林水産物[ぶどう]の販売量[11,618t](現状) × 100 - 100

事業活用活性化計画目標の設定根拠

○目標の設定

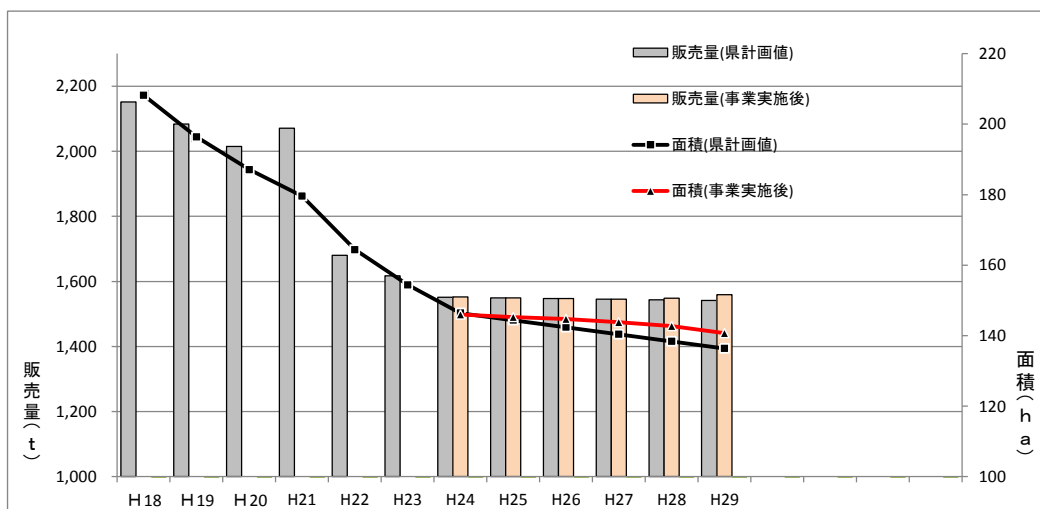
- ・今回整備するハウスの成園化後は、ぶどう販売量が増加に転じると見込まれるため、「地域産物(ぶどう)の販売量の増加」を事業活用活性化計画目標として設定する。
- ・計画期間の増加率は△19.87% △19.92%となる。これは、計画期間前(H18~H23)と比較した場合、近年ぶどう栽培面積が急激に減少し、販売量も対前年比で最大20%減少するなど、ここ数年間で急落していることが要因である。こういったことから、平成24年3月に県が策定した「島根県果樹農業振興計画(H24~H32)」も、H32の目標値を対H22の△7%と設定するなど、ぶどう販売量は毎年減少を想定した振興計画となっている状況である。
- ・今回のハウス整備を行うことで、計画期間中(H24~H29)の販売量は、県の果樹振興計画の同期目標値を上回り、減少率を改善させるものと見込んでいる。
- ・また今回整備するハウスでは、本市の90%以上を占める小粒系(デラウェア)ではなく、収益性の高い大粒系品種(シャインマスカット)の植栽を行う予定である。大粒系品種の販売量は、計画期間中一貫して増加する見込みである。
- ・以上のとおり、計画期間前との比較ではマイナスとなるが、長年減少の一途であった販売量を増加に転じさせ、さらに収益性がある品種の割合を増加させることで、産地再生と定住を推進する。

○増加率の算出

島根県果樹農業振興計画(H24.3)では、H32年度のぶどう県内生産をH22比で面積△20%・生産量△7%と見込んでいるため、本市においても同様に推移すれば、計画期間中(H24~H29)の販売量合計は9,279t、増加率は△20.13%である。

本事業を活用しH24年度からH27年度にかけてハウスを5.0ha 3.4ha整備することにより、収穫開始となるH28年度以降からの販売量が増加することから、これを加えてH29年度を1,563t 1,559t、計画期間内合計を9,309t 9,304tと見込む。これにより、計画期間前からの増加率は△19.87% △19.92%となり、本事業を活用しない場合と比較して計画期間中の減少率が0.26% 0.21%改善される。

販売量及び面積の推移



販売量の品種別内訳

(計画期間前)								
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計	
販売量(t)	2,151	2,084	2,014	2,071	1,680	1,617	11,617	
内訳(t)	小粒系(デラウェア)	1,942	1,962	1,878	1,915	1,532	1,493	10,722
	大粒系(シャインマスカットほか)	6	9	11	11	14	23	74
	その他(加工用)	203	113	125	145	134	101	821
(計画期間)								
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計	
販売量(t)	1,552	1,550	1,548	1,546	1,549	1,563	9,309	
内訳(t)	小粒系(デラウェア)	1,438	1,418	1,378	1,349	1,316	1,301	8,200
	大粒系(シャインマスカットほか)	48	57	97	126	165	195	688
	その他(加工用)	66	75	73	71	69	67	421

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
農業経営改善安定機械施設	出雲	パイプハウスの整備(加温 設備、灌水設備含む)	5.0ha 3.4ha (パイプハウス 1,000㎡/1棟× 50棟 34棟)	H24年度 ~H27年度	いずも農業協同組合 ※H27.3~「島根県農 業協同組合」	650,000 528,600	325,000 264,300	0.5	325,000 264,300	リース方式のぶどうハウス団地を整備することで、初期投資の軽減を図りつつ出雲地 域の特産物であるぶどうの販売量を増加させる。また、生産者所得の向上と地域産業 の活性化等により定住が促進され、人口減少の抑制につながる。
合 計						650,000 528,600	325,000 264,300	0.5	325,000 264,300	

Ⅲ 他の施策との連携に関する事項

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

- 【記入要領】
- ①交付対象となる事業のうち、実施要綱第11条に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性について記載すること。
 - ②連携する施策名には、実施要綱第11条に掲げる施策名を記載すること。
 - ③事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
 - ④地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
 - ⑤必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

